



エコ・ファースト 2011年夏の節電の約束 フォローアップ

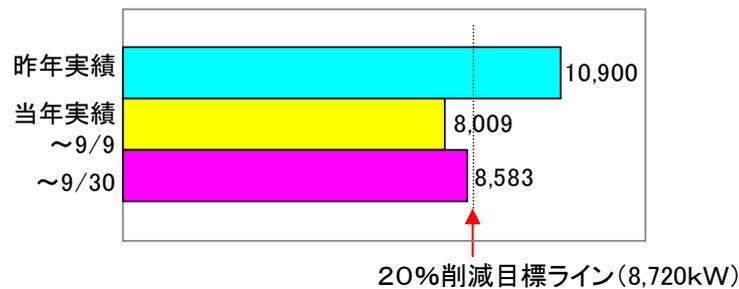
平成23年10月31日
株式会社 資生堂

5月18日付環境大臣に約束した2011年の夏の節電の約束の実施状況は以下のとおりです。

1. 目標達成状況

最大使用電力20%以上削減(8,720kW)に取り組んだ結果、9月9日までの実績は目標を27%下回る8,009kW、9月末まででは目標を21%下回る8,583kWの実績で終了し、いずれも目標を達成しました。

【節電目標と実績】(関東地方・東北地方の大口事業所合計)



2. 個別の取り組みの評価

- (1) 特に効果が大きかった取り組みは、工場の稼働時間の早朝・夜間へのシフト、土日祝日への振替です。しかしこの取り組みは、工場の従業員に負担を与えるものであったため、9月9日の電気使用制限緩和に伴い終了いたしました。
- (2) また、コンピュータセンターでは、非常用自家発電機を稼働させ、ピーク電力の削減に努めましたが、燃料コストの負担増に加え、CO2排出量の増加につながりました。
- (3) 比較的实施が容易であった取り組みは、照明の間引き・消灯です。部分的に蛍光灯を抜くとともに、外が明るい時間の消灯を呼びかけることによって、コストをかけずに節電することができました。
- (4) 今夏は、非常事態であるという認識のもと、全社一丸となって節電に取り組み、生産力を維持しながら節電目標を達成することができました。
今回の取り組みの中で、コスト削減や働き方見直しにつながる一部の活動については、10月以降も継続することとしています。
具体的には、照明の間引き・消灯の継続やOA機器の待機電力カット(未使用時のコンセント抜き)などは、引き続き奨励してまいります。
また、オフィス消灯時間を20時に繰り上げるとともに朝型生活へのシフトを推奨する「モーニングビズ」は、2012年3月まで継続します。